

# その長引くせきの正体は……「マイコプラズマ肺炎」かも？

「せき」の原因は「感染症」によるものと「感染症以外」によるものに分かれることを前回お話ししました。

長引くせきを伴う感染症にもいろいろ種類があります。その中でも昨年から流行っている「マイコプラズマ肺炎」について、今回はお話しします。

「マイコプラズマ肺炎」とはどんな病気なの？

マイコプラズマという、細菌とウイルスの中間ぐらいの大きさの微生物が、気管から肺に感染して起こる肺炎です。通常は気管支炎で治まることが多いのですが、肺炎に至る場合もあります。

以前、日本では4年ごとのオリンピック開催年に1回の流行が見られていました。しかし、最近では毎年、季節を問わず地域的な小流行を繰り返すようになってきました。

好発年齢と感染時期は？

健康な比較的若い年代に多く発症します。好発年齢は、5〜25歳です。

潜伏期間は、2〜3週間です。感染力は、自覚症状が出てくる1週間前からいから始まり、自覚症状が出現した頃にピークとなります。4〜6週間以上続きます。職場内や家族内感染の傾向が強いです。

どんな症状がでるの？

2〜3週間続く、発作性の頑固な乾いたせき特徴です。夜間や早朝に強くなる傾向があります。高熱、胸痛、関

節痛、筋肉痛などを伴うこともあります。痰は伴いません。

診察所見(聴診)に乏しい



治療はどうするの？

マクロライド系の抗菌薬をまず第一に選択して投与します。場合によっては、ニューキノロン系の抗菌薬も使用します。

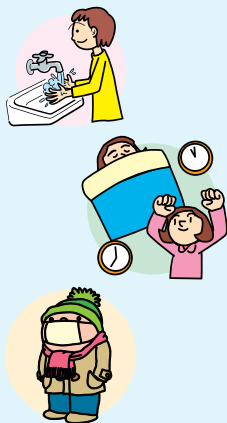
予防方法は？

残念ながら、マイコプラズマ肺炎の予防接種は今のところありません。

- 流行期には、人ごみを出来るだけ避けてください。
- 手洗いやうがいをしっかり行いましょう。
- マスクを着用し、「せきエチケット」を行いましょ。
- 規則正しい生活を心がけ、体調を整えましょ。

ポイント

「せき」が長引いたら、出来るだけ早めに医療機関を受診しましょう。他の人につさないように、十分な対策をとることも重要です。



ひらた呼吸器内科  
クリニック  
院長 平田 範夫

## 花粉症対策

## 花粉注意報発令!!



今年も春の花粉症に悩まされる季節がやってきました。スギ花粉症と診断されている患者様は、症状が現れる直前や現れてすぐの段階で始める**初期療法**をお勧めします。従来の薬よりも眠たくなりにくい新薬も長期処方が可能となっております。ご来院いただきご相談下さい。

## おしらせ

## ひらた呼吸器内科クリニックはリハビリテーションを始めました

開院以来、皆様からのご要望の多かったリハビリテーションを平成23年12月1日から開始しました。寒い季節は、特に**肩こり・腰痛**などがひどくなりやすいと思います。**疲労回復効果**も期待出来ますので、是非、ご利用下さい。

リハビリテーションについては、皆様の待ち時間を少なくし混雑を避けるために、『**完全予約制**』とさせていただきます。詳しくは当院までお気軽にお問い合わせ下さい。

次回も皆様の生活に役立つ医療情報をお届けいたします。